

「女子中高生夏の学校 2012」の報告

「女子中高生の夏の学校—科学・技術者のたまごたちへ—」は、毎年8月に2泊3日の日程で、埼玉県国立女性教育会館において開催されており、今年が第8回目になります。多くの学会や大学、企業の協賛のもとに行なわれており、日本数学会も協賛団体のひとつになっています。

イベントの趣旨は、理系への進学を考える女子中高生が、技術者、科学者、理系の女子学生などとの交流を通じて、進路について考えるというものです。全国から100名を超える女子中高生が参加する人気イベントです。

数学会からは、実験実習として、福岡大学の濱田龍義先生の「数学ソフトと歩く曲線の世界」と広島大学の清水理佳先生の「結び目のゲームを作って遊ぼう」を行ないました。どちらの実験も生徒から好評でした。

また、ポスターセッションとして「結び方と数学」を出展しました。ポスターは愛知工業大学の島和幸先生に新規に作っていただきました。結び目の絵がたくさん描かれたポスターはとても好評で、たくさんの女子中高生がブースに訪れていました。また、多くの先生方が応援に駆けつけてくださいました。皆様のご支援のおかげで、成功裏にイベントを終えることができました。ありがとうございました。



男女共同参画社会推進委員会
夏の学校担当 柏原賢二